

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 6

2008年9月16日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。  
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「イノベーション・ジャパン2008」で発表・出展します
2. キックオフシンポジウム「東三河 I T 食農先導士養成拠点の形成」のご案内
3. 「第2回しんきんビジネスフェア in Hamamatsu」に出展します
4. 「JST Innovation Bridge 静岡大学研究シーズ発表会」を開催します
5. 「第22回東京ビジネス・サミット2008」に出展します
6. CIC東京 大学連合フォーラム「環境問題と大学の役割」のご案内

---

1. 「イノベーション・ジャパン2008」で発表・出展いたします

日時 平成20年9月16日～18日 10:00～18:00

場所 東京国際フォーラム（東京・有楽町）

主催 (独) 科学技術振興機構、(独) 新エネルギー産業技術総合開発機構

静岡大学の発表・展示内容

●発表●

9/16 (火) 13:30～

「多孔質化イヌリンによる油脂の粉末化技術」新井映子

9/17 (水) 11:30～

「高温水によるバイオマス廃棄物の高効率エネルギー資源化技術」佐古猛

9/18 (木) 14:00～

「航空画像を用いた広域における道路標示抽出」佐治斉

9/18 (木) 15:00～

「GPUを用いたビデオ映像のリアルタイム安定化」三浦憲二郎

9/18 (木) 15:00～

「圧電結晶を用いた新しいマイクロ実験室の開発」近藤淳

●展示● 9/16～18

「現地調査に基づく中国四川地震の断層メカニズム」林愛明

「癌の早期発見・早期治療のための医用材料のイノベーション」山下光司

「GPUを用いたビデオ映像のリアルタイム安定化」三浦憲二郎

「航空画像を用いた広域における道路標示抽出」佐治斉

「高温水によるバイオマス廃棄物の高効率エネルギー資源化技術」佐古猛

「圧電結晶を用いた新しいマイクロ実験室の開発」近藤淳

入場料 無料

詳細 <http://expo.nikkeibp.co.jp/innovation/index.html>

問合先 静岡大学イノベーション共同研究センター 担当 大内、尾形

TEL 053-478-1704

---

2. キックオフシンポジウム「東三河 I T 食農先導士養成拠点の形成」  
のご案内

日時 平成20年9月26日 (金) 13:30～16:30

場所 ホテルアソシア豊橋5階 ザ・パティオ

主催 豊橋技術科学大学

内容 講演「我が国における I T 農業の現状と課題」

説明

「豊橋技術科学大学先端農業バイオリサーチセンターの活動について」  
「インテリジェントハウスとデータマイニング」  
「施設園芸におけるIT技術の導入と実践」  
「東三河IT食農先導士の養成拠点の形成事業と地域活性化」

参加費 無料（要申込）  
詳細 <http://www.tut.ac.jp/cgi-bin/aup200p/display.cgi?id=570>  
問合せ 豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター  
担当 三枝、中川  
TEL 0532-44-6655

---

### 3. 「第2回しんきんビジネスフェア in Hamamatsu」に出展します 新たな一歩～ひろがる・つながる・ものづくり！～

日時 平成20年10月8日（水） 10:00～17:00  
場所 浜松市総合産業展示館（浜松市東区流通元町20-2）  
会場産業振興センター  
主催 浜松信用金庫  
内容 展示商談会、個別商談会、航空宇宙関連展示コーナー  
主旨 地元中小企業にビジネスマッチングの「出会いの場」を  
提供し販路拡大、受注確保などビジネスチャンスの機会  
創出を強力にバックアップします。  
また大学・支援機関も参加し連携をいっそう強め、地元企  
業および地域の活性化推進を目的として開催します。  
出展 企業：180件 大学等：20件 広域連携：40件  
入場料 無料（個別商談会は事前予約制）  
詳細 <http://biz.process.ne.jp/>  
問合せ 静岡大学イノベーション共同研究センター 担当 岩澤  
TEL 053-478-1669

---

### 4. 「JST Innovation Bridge 静岡大学研究シーズ発表会」を開催します

共同研究に意欲的な静岡大学の研究者が、イノベーション創出の可能性を秘めたシーズ候補をご紹介します。同時開催のポスターセッションにて、研究者と直接意見交換を行うことも可能ですので、ぜひお越しください。

日時 平成20年10月20日（月）13:00～17:00  
場所 東京ステーションコンファレンス（サピアタワー6階）  
主催 静岡大学、（独）科学技術振興機構

#### プログラム

#### ■ A会場 ■ <バイオ・食品/環境/ナノテク>

1. 糖鎖を活用したインフルエンザウイルス吸着剤の開発（碓氷泰市）
2. 植物のストレス耐性及び形態形成を制御するケミカルノックアウト剤（轟 泰司）
3. 食品成分でメタボリックシンドロームを予防する（茶山和敏）
4. イヌリンによる油脂の粉末化技術と応用製品の特性（新井映子）
5. 金属錯体ポリマーを用いた有害陰イオンの除去（近藤 満）
6. 二酸化チタン光電極プロセスによる水の浄化処理（前田康久）
7. 低真空CVD法によるAlN-InN薄膜の作製と光応用の可能性（鈴木久男）
8. 電界放出微小電子源の製作と応用（三村秀典）

#### ■ B会場 ■ <画像・計測>

1. 注視点検出機能付きヘッドマウントディスプレイ（海老澤嘉伸）
2. 手書きスケッチ入力による画像内容検索（大橋剛介）

3. 歪み補正ができる既存ドキュメントの電子化 (山下 淳)
  4. 画像データベースを用いた超高精度3次元計測技術 (橋本 岳)
  5. マイクロ波イメージングによる初期乳癌検診 (桑原義彦)
  6. コンピューターシミュレーションによる最適装置設計 (岡野泰則)
  7. カーボンナノファイバー充填エラストマーを用いたひずみセンサ (島村佳伸)
  8. X線等を用いた表面改質鋼の表面強度特性評価技術 (坂井田喜久)
- 対象 発表者との共同研究検討を目的とした企業等の方  
参加費 無料 ※事前登録制 (下記URLよりお申込みください)  
詳細/申込 <http://deainoba.jp/meeting/081020/index.html>  
問合せ 静岡大学イノベーション共同研究センター 担当 大隅  
TEL 053-478-1413

---

## 5. 「第22回東京ビジネス・サミット2008」に出展します

イノベーション共同研究センターでは、新商品・新技術・新サービスを介して中小企業の事業拡大を目的とした「東京ビジネス・サミット2008」の静岡県内企業150ブースで構成する“静岡夢街道”に出展します。

静大の研究シーズを活用して新たな事業展開への可能性を探りませんか。皆様のご来場をお待ちしています。

日時 平成20年10月21日 (火) 10:00~18:00  
22日 (水) 10:00~17:00  
場所 東京ビックサイト 東4・5・6ホール (東京・有明)  
入場料 事前申込みにより無料 (通常2000円)  
詳細 <http://www.business-summit.jp/>  
問合せ 静岡大学イノベーション共同研究センター  
ベンチャー支援ネットワーク室 担当 鈴木  
TEL 053-478-1713

---

## 6. CIC東京 大学連合フォーラム「環境問題と大学の役割」のご案内

日時 平成20年10月29日 (水) 13:00~17:00  
場所 キャンパス・イノベーションセンター東京 (東京・田町)  
内容 ○基調講演「持続的な資源の活用に向けて  
：消費者の立場からみた大学・企業への提言」  
消費生活アドバイザー 辰巳 菊子氏  
○パネルディスカッション  
パネリスト：静岡大学教授 鈴木款 ほか  
○環境関連研究成果・取り組み事例のパネル展示  
参加費 無料  
定員 150名  
URL <http://cic-hp.zam.go.jp>  
問合せ 静岡大学東京事務所 担当 酒井  
TEL 03-5440-9066

---

### 《 みんなのコラム 》

今の文明はどこまで発展していけるのか、全く予想もつきません。開発途上国を含めた国々が今の先進国並みの開発まで進むのでしょうか。その前に地球という惑星の姿が存続するか、とても心配です。

私自身、副センター長を4月からお受けしたイノベーション共同研究センターに積極的に関わって常々思うことですが、お互いに程々発展し

ていける方法はないかということを考え始めています。何故なら、永遠に成長するという概念はあり得ないからです。命の基本は、葉の茂る成長期が過ぎれば、自分自身の装いよりも自分の実のために生き、最終的には命が絶えます。古来から文明も栄枯盛衰。

先進諸国も自然に見習ったらどうかと思います。先人の知恵は、物のエネルギーを徹底利用すること。

二酸化炭素やフロン排出が温暖化原因と云われますが、何らかのエネルギーが残っている物質を廃棄するので、その残留エネルギーによる「汚染」が生じています。私も廃油脂や非食物である廃棄ペーパースラッジからバイオ燃料を造る研究をしています。

「知」のエネルギーの集結が、今の地球を救い出すイノベーションになると信じて。  
(記：朴 龍洙)

#### 《 編集後記 》

今夏は本当に暑い日が多く、浜松では8月の最高気温が平年より約1.5度高くなったとのこと。最高気温が36.6度を記録した日もありました。

気温上昇の影響は意外なところにも及んでいて、その昔、静大のキャンパスでは、アブラゼミが大勢を占めていたのですが、今はクマゼミと逆転。これも地球温暖化によるものという話です。

9月に入ってから、「ワシワシワシ・・・」というセミの鳴き声も遠のき、涼しい風が吹くように。そろそろ秋の気配です。

\* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \*

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・購読中止のご連絡は、[sangakukoho5O@jr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5O@jr.shizuoka.ac.jp) までお願いします。(↑送付の際は〇欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

#### 発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター

編集：原典子

編集責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL053-478-1414

\* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \*

by Copyright(c)2008-2009 Innovative Joint Research Center,  
Shizuoka University. All rights reserved